

「SELFサポートツール」インストール手順

インストール

1. <https://nagasaki-sst.com/SST/Setup.exe>



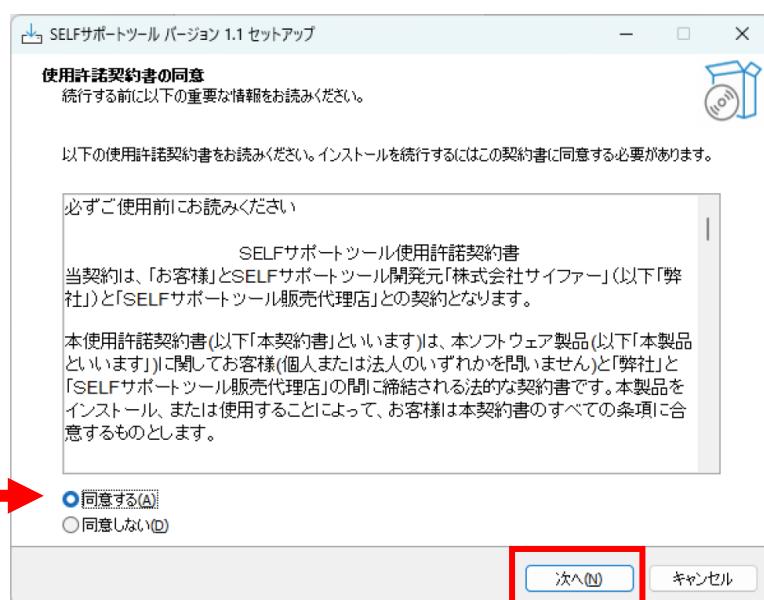
から「SELFサポートツール」の「Setup.exe」をダウンロードする。

2. 「Setup.exe」を実行する。。

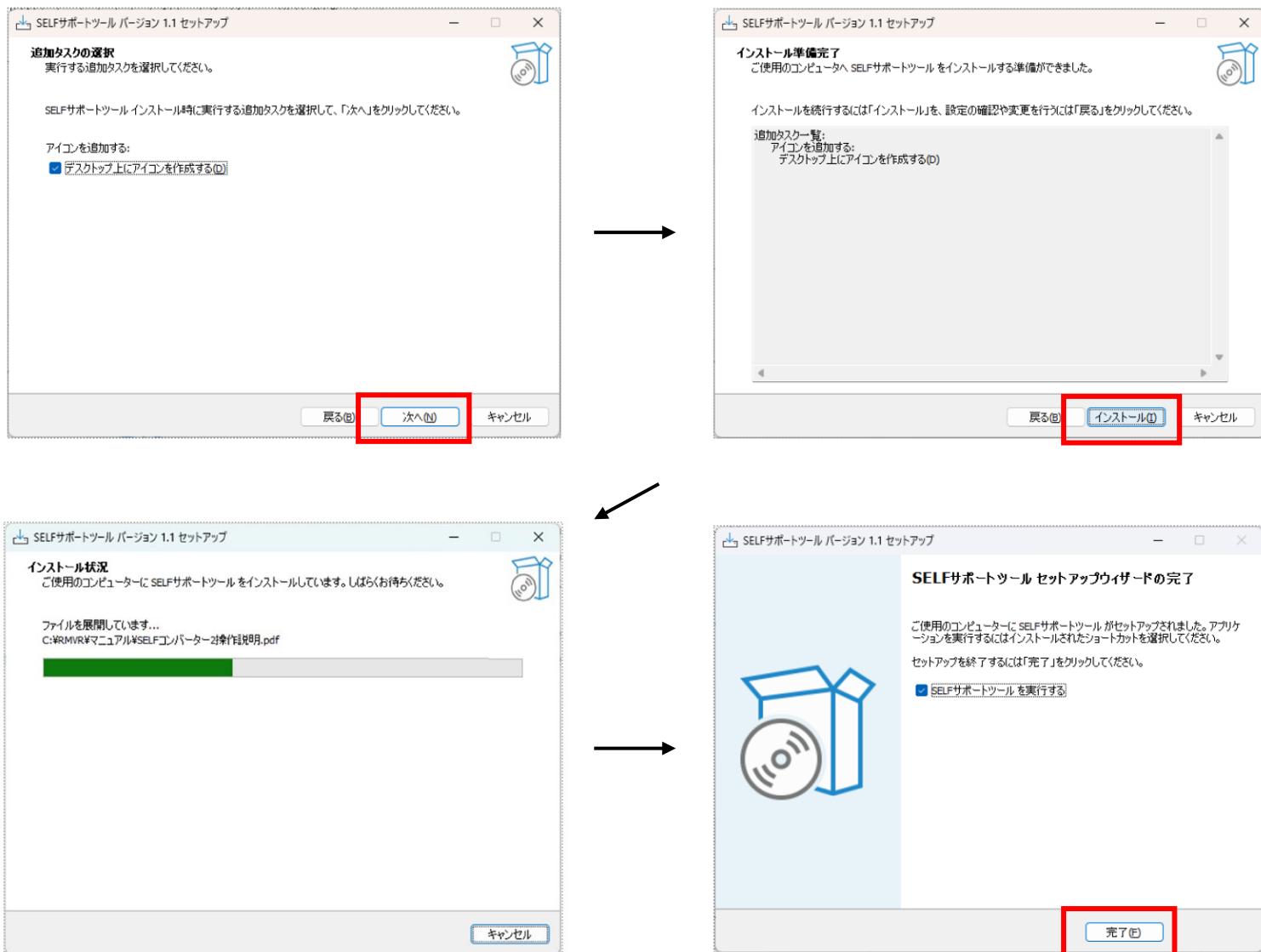
3. [はい] をクリックする。



4. ◎同意する(A)に変更し、[次へ(N)]をクリックする。



5. 順に [次へ(N)] → [インストール(I)] とクリックするとインストールが始まり、[完了(F)] で完了する。



6. デスクトップにアイコンが作成され、「SELFサポートツール」が起動する。
「枝番リムーバー」をお使いの場合には、旧アイコンが「SELFサポートツール」のアイコンに変わる。



「過去データコピー機能」操作手順

SELFには前月、前々月、3ヶ月前のデータをコピーする機能があるが、4ヶ月以前のデータはコピーできない。今回「SELFサポートツール」に全ての過去データから必要な情報をコピーする機能としてFF1連携を追加した。

1. 「枝番リムーバー」をお使いの場合は、「SELFサポートツール」をインストールすると、「枝番リムーバー」がバージョンアップされ「SELFサポートツール」となる。

これに伴いアイコンが  から、「SELFサポートツール」のアイコン



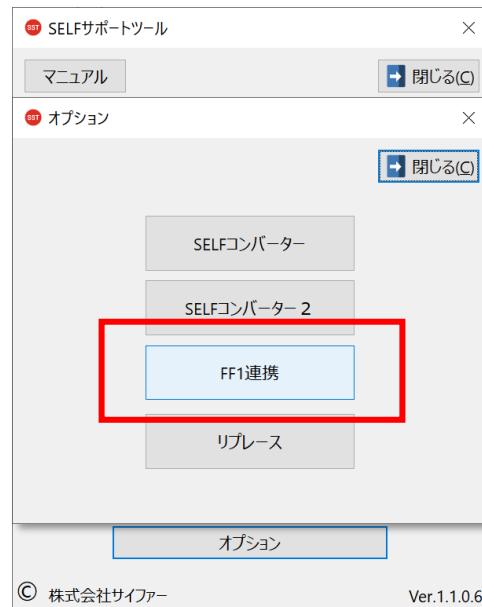
に変わる。アイコンをダブルクリックして「SELFサポートツール」を起動する。

注：アイコンが変わるので時間がかかる場合があるが、旧アイコンをダブルクリックしても「SELFサポートツール」が起動する。

2. [オプション] をクリックする。



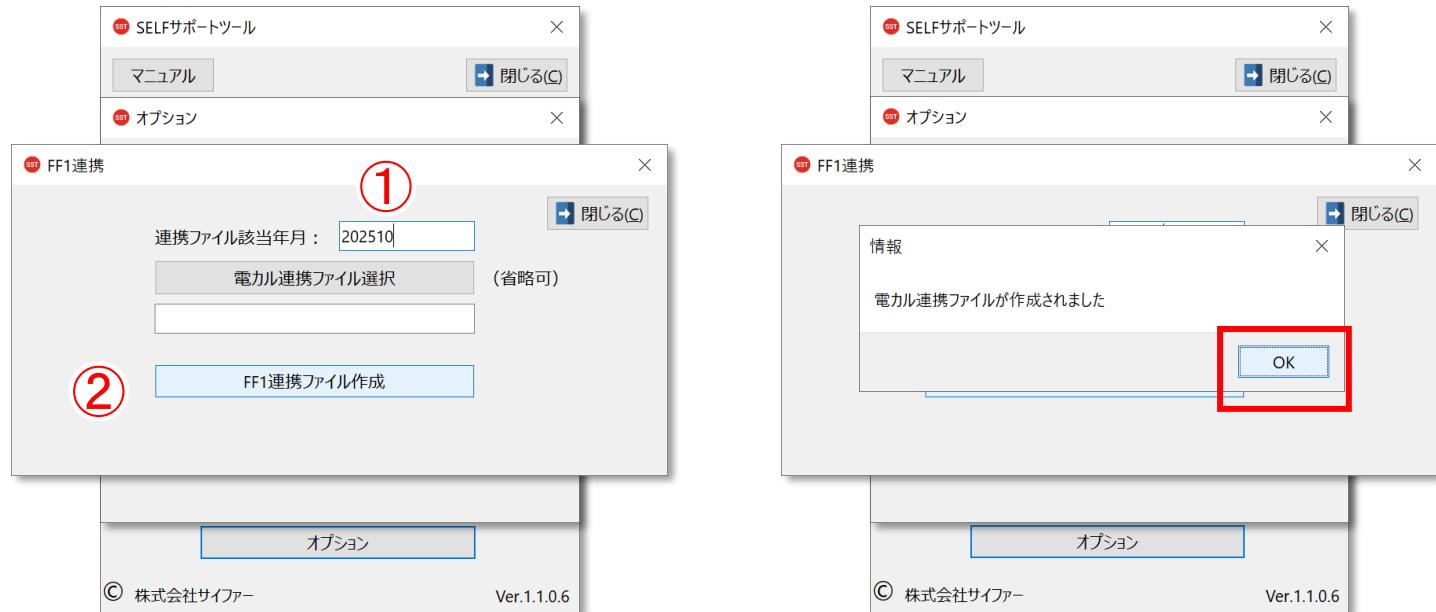
3. 「FF1連携」を選択する。



FF1連携とは、C:\HDD_RV2\FF1フォルダに保存されている過去に作成した全てのFF1ファイルから、登録された全ての患者について、最も新しい月の情報を抽出してレセ電連携ファイルの形式に変換する機能である。

これにより、全ての過去データから必要な情報をコピーすることが可能となった。

4. ① FF1ファイルを作成する該当月を
202510 (YYYYMM) のように入力し、
② [FF1連携ファイル作成] をクリック
する。



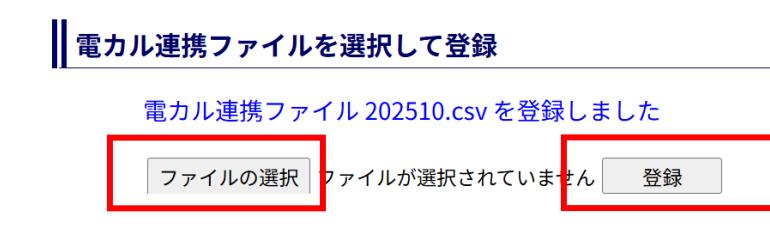
6. 電カル連携ファイル（例：202510_ff1all.csv）がダウンロードされる。
ダウンロードした電カル連携ファイルは適時必要な場所に移動する。



7. SELFを起動し、該当月の社保、国保のレセプトを登録、外来様式1作成支援画面
の [電カル連携] をクリックする。



8. 「電カル連携ファイルの取り込み画面」が開くので、ダウンロードした電カル連携ファイル（202510_ff1all.csv）を選択して【登録】をクリックする。



9. 3ヶ月以前に受診した患者は郵便番号、身長、体重等が空欄で表示されるが、電カル連携ファイルを登録することで過去のデータがコピーされる。
必要データを追加し「保存」を実行することでデータが保存される。

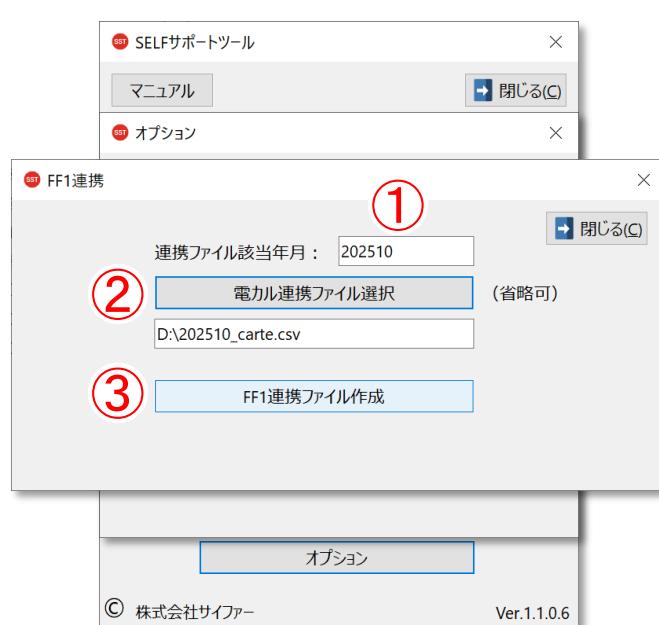
入力画面

診療年月： 2025年10月	レセプト閲覧
氏名・性別 テスト国 6 4 (女)	カルテ番号 0000002537 生年月日・年齢 1936年05月07日 (89歳) ※診療月1日時点の満年齢
ヘッダ部	
施設コード：420123456	患者ID：0000002537
ペイロード部	
CPP0001：属性 [必須]、CPF0001：身長・体重 [必須]	
生年月日：19360507	性別：2 郵便番号：[] 身長：[] cm 体重：[] kg
CD00001：診断情報／傷病情報	ICD10検索

ペイロード部	
CPP0001：属性 [必須]、CPF0001：身長・体重 [必須]	
生年月日：19360507	性別：2 郵便番号：8510111 身長：149 cm 体重：45.0 kg
CD00001：診断情報／傷病情報	ICD10検索

↓

10. 既にレセ電連携ファイルが作成されている場合には、



- ① FF1ファイルを作成する該当月を入力する。
- ② 作成したレセ電連携ファイル（202510_cart.csv）を選択する。
- ③ 【FF1連携ファイル作成】をクリックする。
あとの操作は5. 以下と同様である。

「検査取り込み」を利用している場合には、
「電カル連携」→「検査取り込み」の順に行う。逆の順に行うと検査データが空白になるので注意。

「過去データコピー」の注意点

2025年9月を例にとる。

「電カル連携画面で」 SELFサポートツールの「FF1連携」で作成した 202509_ff1all.csv をを選択して登録すると、

電カル連携ファイルを選択して登録

電カル連携ファイル 202509.csv を登録しました

C ドライブ > HDD_RV2 > FF1 > 202509 の中に 202509.csv というファイルが生成される。

「対象患者リスト画面」の [FF1作成] をクリックし入力画面を開くと

連番	患者ID	患者氏名	FF1作成	作成済み	削除	カルテ番号
1	0000000016	テスト国32	FF1作成	未	FF1削除	16

過去の郵便番号、身長、体重が表示されるが、これは 202509.csv の値を参照しているだけで、まだ確定していない。

長・体重【必須】

802	性別: 2	郵便番号: 8510104	身長: 152 cm	体重: 36.7 kg
-----	-------	---------------	------------	-------------

傷病名

自院管理	傷病名コード	ICD10コード	修飾語コード
1右▼	2500013	E110	

[保存して...] をクリックすると参照した値が確定し保存される。

保存して診療月の選択に戻る

保存して前の患者へ

保存して対象患者の選択に戻る

保存して次の患者へ

FF1ファイルを生成すると、確定した値でFF1ファイルが生成される。

令和07年09月診療分

(国保) (社保)

-
-
-

当月の提出用FF1ファイルを生成する

FF1ファイルをダウンロード

注： [保存して...] をクリックして保存しないと入力画面に表示された値はFF1ファイルに反映されない。

キーボードから体重を「40.1」kgに変更した場合

長・体重【必須】				
802	性別：2	郵便番号：8510104	身長：152 cm	体重：40.1 kg
10検索		再表示		
傷病名	自院管理	傷病名コード	ICD10コード	修飾語コード
	1右▼	2500013	E110	

〔保存して...〕をクリックすると変更した値「40.1」kgが確定し、保存される。

連番	患者ID	患者氏名	FF1作成	作成済み	削除	カルテ番号
1	0000000016	テスト国32	FF1作成	作成済み	FF1削除	16

しかし再度〔FF1作成〕をクリックし同じ患者の入力画面を開くと

長・体重【必須】				
802	性別：2	郵便番号：8510104	身長：152 cm	体重：36.7 kg
10検索		再表示		
傷病名	自院管理	傷病名コード	ICD10コード	修飾語コード
	1右▼	2500013	E110	

変更前の値が表示される。

これは入力画面の値はあくまで 202509.csv の値「36.7」kgを参照しているためで、確定し保存されているのは変更後の値「40.1」kgである。

この状態でFF1ファイルを生成すると、確定、保存した「40.1」でFF1ファイルが生成される。

0000000016	202509	CH00001 0	0	-	-	-
0000000016	202509	CN00001 0	0	0	-	-
0000000016	202509	CPF0001 0	152	40.1	-	-
0000000016	202509	CPFS001 0	0	-	-	-
0000000016	202509	CPP0001 0	19410802	2	8510104	-
0000000016	202509	LMDL001 0	1	1	-	-

注：入力画面の値を「40.1」に変更し、保存した場合、再度入力画面を開くと、変更前の値「36.7」が表示される。しかし、これは見かけ上で、保存されているのは変更された値「40.1」である。